

証券投資論		講義	教授 矢島 格
科目カテゴリー	国際ビジネスコースの専門 選択科目 会計ファイナンスコースの 専門選択科目	科目ナンバリング	23220202

1. 授業のねらい・概要

証券投資の対象としての金融商品についての基本的な特徴に加えて、証券投資理論（現代ポートフォリオ理論）や行動ファイナンス理論の基本的な考え方についてわかりやすく説明する。また、証券投資の主な担い手である運用会社（アセットマネジメント会社）や証券投資に関わる主な主体（プレーヤー）などについても、できる限り平易に説明する。

この授業の受講によって、理論に裏付けられた実践的な証券投資に関して、受講生諸君が興味・関心を持ってもらうことを目指す。

なお、本科目の履修にあたっては、「ファイナンス入門」と「FP 概論」を履修しておくことが望ましい。

2. 授業の進め方

テキストおよび配布資料を使いながら、証券投資理論の基礎知識や証券投資に関するビジネスの仕組みなどについて講義形式で説明する。なお、随時、新聞・雑誌の記事などから具体的な出来事を取り上げて実践的で実用的な説明も行う。

3. 授業計画

1. 証券投資に関するビジネスの概要	8. 運用会社の役割と特徴
2. 証券投資に求められる行動規範	9. 証券投資に関わる主体① (アナリスト, ファンドマネジャー)
3. 証券投資の基本 (リスクとリターン)	10. 証券投資に関わる主体② (年金, 銀行, 信託銀行, 生保, 格付け会社)
4. 現代ポートフォリオ理論	11. アクティブ運用とパッシブ運用
5. 株式と債券	12. パッシブ運用の投資手法
6. 代替資産とデリバティブ	13. アクティブ運用の投資手法
7. 投資信託	14. スマートベータの投資手法・ESG 投資
	15. 証券投資に関するビジネスの今後の展望

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。なお、これらの準備学修には、2 時間以上が必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

レポート提出時に採点・評価のポイントを説明する。

6. 授業における学修の到達目標

証券投資に関するビジネスの仕組みや証券投資理論の基礎的な内容を修得して、証券投資における留意点や課題などが理解できる。

7. 成績評価の方法・基準

授業への取組み姿勢（50%）およびレポートの結果（50%）によって、評価する。

8. テキスト・参考文献

テキストは、授業開始時まで指定するので毎回の授業に必ず持参すること。また、参考文献は適宜紹介する。

9. 受講上の留意事項

受講の要件としては、金融・ファイナンスの基礎知識があることが望ましいが、そうでない場合も、理解できるように説明する。疑問や不明な点については、遠慮なく質問してもらいたい。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、金融機関における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。